

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	スマートエネルギーハウス	仕様等の確定状況	建物の仕様	確定	
竣工年月	2010年12月	竣工	持ち込み家電等	確定	
建設地	奈良県北葛城郡王寺町	確定	外構の仕様	確定	
用途地域	第一種低層住宅専用地域		<備考>		
省エネルギー地域区分	IV				
構造・構法	軽量鉄骨造	確定			
階数	2F	確定			
敷地面積	198.58 m ²	確定	評価の実施日	2011年12月5日	
建築面積	71.54 m ²	確定	作成者	清水務	
延床面積	138.79 m ²	確定	確認日		
世帯人数	3	確定	確認者		

2-1 すまいの環境効率(BEEランク&チャート)

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

戸建標準計算

①参照値	100
②建築物の取組み	65%
③上記+②以外の	33%
④上記+	33%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2: 長く使い続ける

室内環境を快適・健康・安心にする

エネルギーと水を大切に使う

資源を大切に使いゴミを減らす

Q1: まちなみ・生態系を豊かにする

地球・地域・周辺環境に配慮する

LR1: まちなみ・景観

LR2: 地球温暖化

LR3: 地域環境への配慮

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q1のスコア= 4.2

暑さ・寒さ	4.8
健康と安全・安心	3.6
明るさ	4.0
静かさ	3.0

Q2 長く使い続ける

Q2のスコア= 4.6

長寿命に対する	4.6
維持管理	5.0
機能性	4.5

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

Q3のスコア= 4.2

まちなみ・景観	5.0
生物環境の	3.7
地域の	5.0
地域の資源の活用	3.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR1のスコア= 4.2

建物の工夫で省エネ	3.0
設備の性能で省エネ	5.0
水の節約	4.5
維持管理と運用の工夫	5.0

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR2のスコア= 3.9

省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用	3.5
生産・施工段階における廃棄物削減	5.0
リサイクルの促進	3.0

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

LR3のスコア= 3.8

地球温暖化	5.0
地域環境への配慮	3.5
周辺環境への	3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>住宅に加え居住者が利用する電気自動車まで含めたCO₂排出量差し引きゼロを目指すために、太陽光発電、次世代燃料電池、蓄電池を設置・制御し、高効率なエネルギーの利用を行います。また、HEMSを導入し、電気と熱の使用量などをリアルタイムに住まい手が把握できるようにするとともに、省エネアドバイスおよび機器制御をすることによって、省エネルギーの促進を行います。さらに、日射コントロールのため、カーテンやシャッターの開閉の自動制御や、ナイトバージのため大風量のファンを設けています。</p>	<p>この建物には、施主である大阪ガスのエネルギー部門に勤務する社員家族が居住します。導入されているHEMSや省エネ家電を活用するための十分な知識があります。</p>
<h4>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</h4> <p>断熱性能は、建築地より寒冷地となるⅢ地域(次世代省エネルギー区分)を超える断熱仕様としています。サッシはアルミ樹脂の複合タイプとし、窓ガラスは方位によって高断熱型と遮熱高断熱型の使い分けをしています。全居室における通風確保のため、2方向開口または欄間を設けています。</p>	<h4>Q2 長く使い続ける</h4> <p>長寿命に対する基本性能は、躯体の耐久性・耐震性・耐風性などで確保しています。超寿命に重要な維持管理についても、設備配管などの交換容易性に配慮しています。また、ソフト面でもメンテナンスの情報提供や定期点検の計画を行い、実施できる体制を整えています。</p>
<h4>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</h4> <p>近接住宅とのまちなみと調和するように、前面道路からの後退距離や建物高さ、外壁の色合いなど周囲の建物に合わせるように設計しています。道路境界には、フェンス・垣根をつくらずオープン外構とし、小動物や昆虫が息できるように自然石を採用しています。</p>	<h4>LR1 エネルギーと水を大切に使う</h4> <p>LED照明やW調光式の暖房便座、5つ星のテレビ・冷蔵庫など、幅広い設備で高い省エネ性を有する機種を採用しています。浴室は断熱タイプかつ節水タイプの浴槽、台所と浴室の水栓は節湯ABとして、水資源の節約となります。さらに、太陽光発電に加え、燃料電池、蓄電池を設置して省エネ・省CO₂となるようにしています。</p>
<h4>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</h4> <p>生産・施工段階での廃棄物を削減するため、部材の多くをISO14001取得工場にて生産しています。また工場の廃棄物の一部は瓦葺り下地材などのリサイクル材として再利用しています。さらに、現場から排出される廃棄物を管理し、回収された廃棄物は最終処分を避ける現場ゼロエミッションを達成しています。</p>	<h4>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</h4> <p>建築地域周辺の郷土産であるエコノキ、モチノキ、コブシを採用して自然生態系に配慮をしています。また、ゴミの分別ストックスペースを住宅内に設け地球環境にも配慮しています。</p>